

# 「ミュージック・トラベラー・オン・グーグルアース」の手引き

## ◆目次

### 1. 本学習材について

#### 1-1. 本学習材の特徴

#### 1-2. 本学習材の意義と活用例

### 2. 本学習材の環境設定と使用法

#### 2-1. GoogleEarth について

##### 2-1-1. GoogleEarth とは

##### 2-1-2. GoogleEarth のダウンロード

#### 2-2. 本学習材 kmz ファイルのダウンロードと GoogleEarth へのインポート

##### 2-2-1. 本学習材 kmz ファイルのダウンロード

##### 2-2-2. 本学習材 kmz ファイルを GoogleEarth へインポートする

#### 2-3. 本学習材の操作方法

## 1. 本学習材について

ミュージック・トラベラー・オン・グーグルアース (Music Traveler on GoogleEarth) は、ヴァーチャル地球儀 (GoogleEarth) 上を移動しながら、世界各地の伝統音楽の動画が公開されている動画投稿サイト Youtube にアクセスすることができる学習材です。どなたでも無料で利用可能です。

小・中学校の音楽科と社会科の学習を横断的に行うこと、また、児童・生徒が主体的に学習することを目的として制作しました。

### 1-1. 本学習材の特徴

本学習材の特徴を整理すると、以下の4点があげられます。

①地球上のあらゆる場所を見て回ることができます。

視点の角度や方向、高さも調節できる、さまざまなスケールで世界を眺めることができます。

② 世界各地の伝統音楽に関する動画 (YouTube) にアクセスすることができます。

実際に演奏している動画や踊っている動画にアクセスすることによって、視覚的に音楽を捉えたり学習したりすることができます。なかには、解説付きの動画もあります。

③ GoogleEarth の「ストリートビュー」の機能で、実際にその地を見ることができます。

自然の風景や風土、歴史的な景観を実際にそこに立っているかのように眺めることができます。

④ 自由に目印の編集ができます。

情報を修正 (更新) したり、追加したりすることができます。

## 1-2. 本学習材の意義と活用例

ここでは、本学習材の特徴から考えられる、本学習材の意義や活用例を示します。

第 1 に、学習者の主体的な学びを促すことができる点が、本学習材の意義として挙げられます。自らヴァーチャル地球儀を回し、その土地の風景を見ながら目印を発見していくことで、ゲーム感覚で学習に取り組めます。仲間と一緒に世界旅行をするような感覚で、グループで楽しむ活動も行えます。

第 2 に、多文化理解のための学習のきっかけを提供できることが挙げられます。世界各地の伝統音楽が収録された動画には、独自の衣装や振り付け、その音楽が演奏されているコンテキストなど、多くの情報が含まれています。さらに、自然の風景や歴史的な景観を眺めることで、それぞれの地域の特色をリアルに感じ取ることができます。民族音楽を入り口に、文化・歴史・社会・物語など、音楽と関連のある様々な要素を含めて、学習を深めていくという展開が考えられます。

第 3 に、学びのポートフォリオとしての機能を備えていることが挙げられます。既存の情報に、自分の調べたことや考えたことを新たに付け加えていくことで、オリジナルの学習材として進化させていくことができます。また、制作物を共有することもできるため（詳しくは 2-2 を参照）、グループでの共同制作もできます。このことは、学習評価や意見交流にも役立つことでしょう。

第 4 に、地理的な見方や考え方を育むことができることが挙げられます。地球、国、地域、自分の目線と、多様なスケールで眺めることで、各地域の地理的・文化的な関係を感じる事が出来ます。こういった体験は、音楽科と社会科の内容を横断的・複合的に捉える学習の機会になるかもしれません。

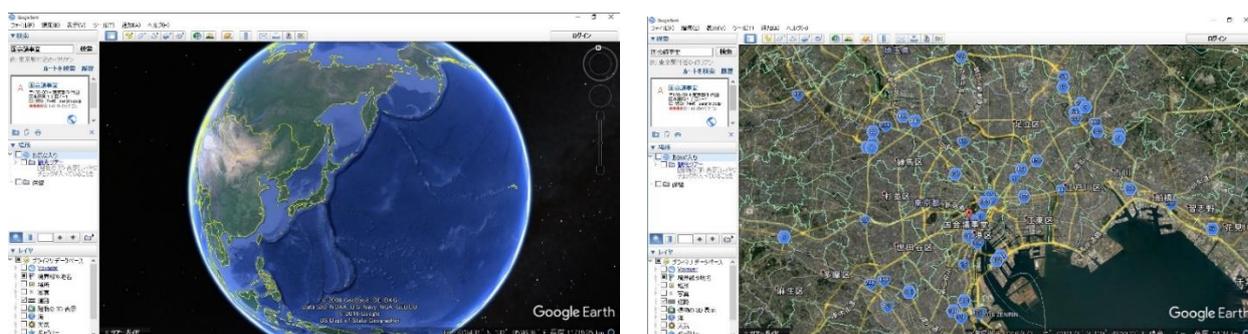
ここまでに挙げた 4 つの意義・活用例は、学習者の習熟度や発達段階に応じて、柔軟にアレンジすることが可能です。さまざまな地域の音楽を動画で楽しむだけのシンプルな活動から、学習者自らがより詳細な調査・研究を深めていく活動まで、さまざまなレベルの学習活動を設定することができます。

## 2. 本学習材の環境設定と使用法

### 2-1. GoogleEarth について

#### 2-1-1. GoogleEarth とは

GoogleEarth (グーグルアース) とは、グーグル社によって無料で配布されているソフトウェアの一つです。グーグルの公式サイトから自由に無料でダウンロードでき、世界中から、指定した場所の衛星・航空写真・情報・3Dモデルなどを表示することができます。



GoogleEarth 最大の特徴は、自分自身がその地に降りたって 360 度周囲を見ることのできる「ストリートビュー」という機能を備えている点です。この機能を使うことで、その土地の風土や環境を感じることができます。



## 2-1-2. GoogleEarth のダウンロード

GoogleEarth は下記の URL のウェブサイトからダウンロードできます。また、本学習材を紹介しているウェブサイトの中の「必要なもの」の欄にもリンクを用意しています。

<https://www.google.co.jp/intl/ja/earth/>

GoogleEarth のホームより、「GoogleEarth をダウンロード」をクリックすると、ダウンロードページに移行します。



「同意してダウンロード」をクリックすると、GoogleEarth のダウンロードが始まりますので、手順に従ってダウンロードしてください。



「同意してダウンロード」をクリック。

## 2-2. 本学習材 kmz ファイルのダウンロードと GoogleEarth へのインポート

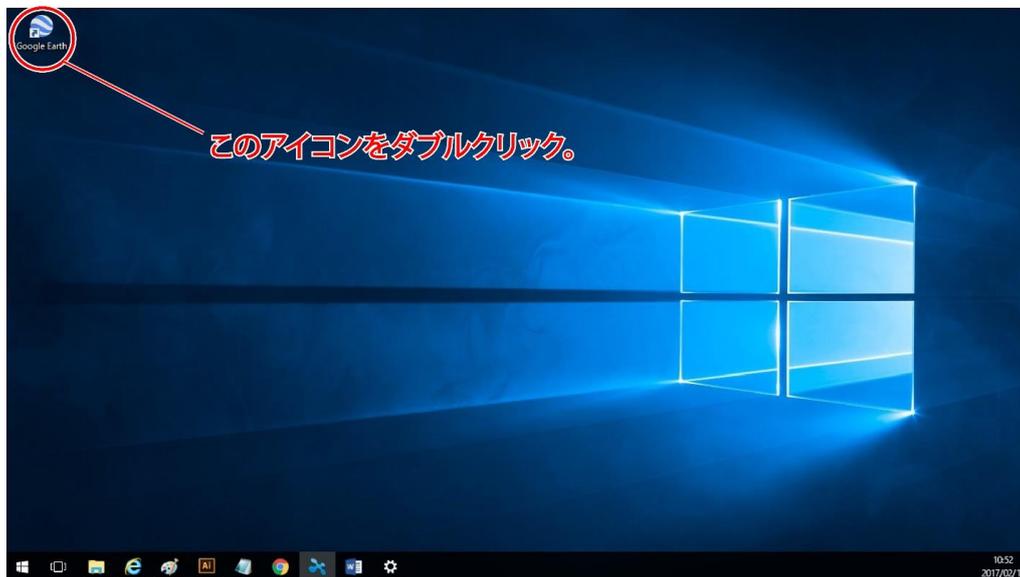
本学習材は、GoogleEarth 上で、「worldwide.music」という kmz ファイルをインポートすることによって使うことができます。kmz ファイルとは、GoogleEarth から目印（位置情報や説明文など）の情報を取り出したファイル形式です。kmz ファイルで目印を保存し、GoogleEarth で開くことで、他の媒体で同じ目印を共有することができます。

### 2-2-1. 本学習材 kmz ファイルのダウンロード

まず、本ウェブサイトで、本学習材の kmz ファイル「worldwide.music」をダウンロードしてください。

### 2-2-2. 本学習材 kmz ファイルを GoogleEarth へインポートする

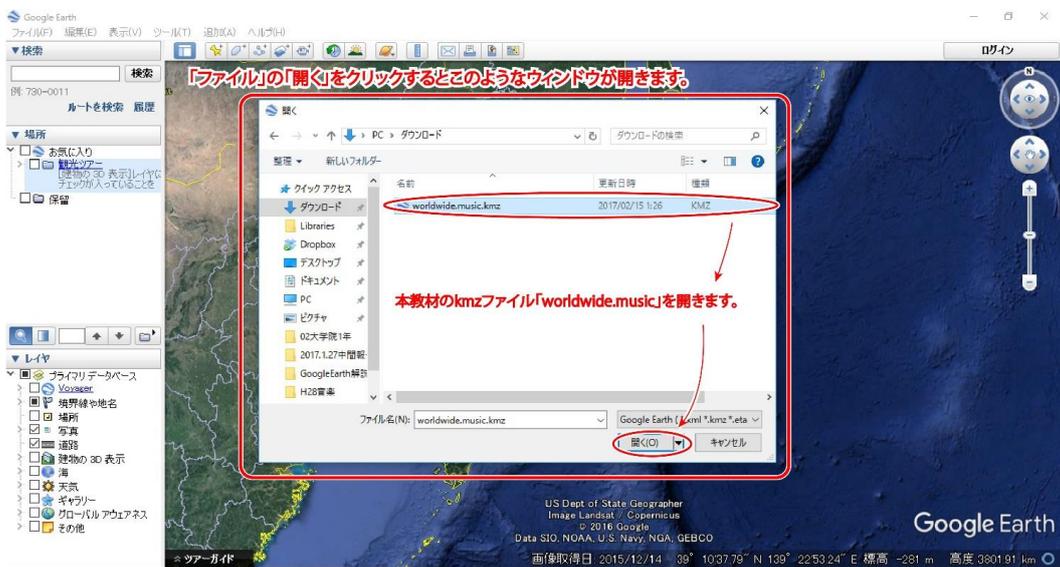
次に、GoogleEarth を開きます。



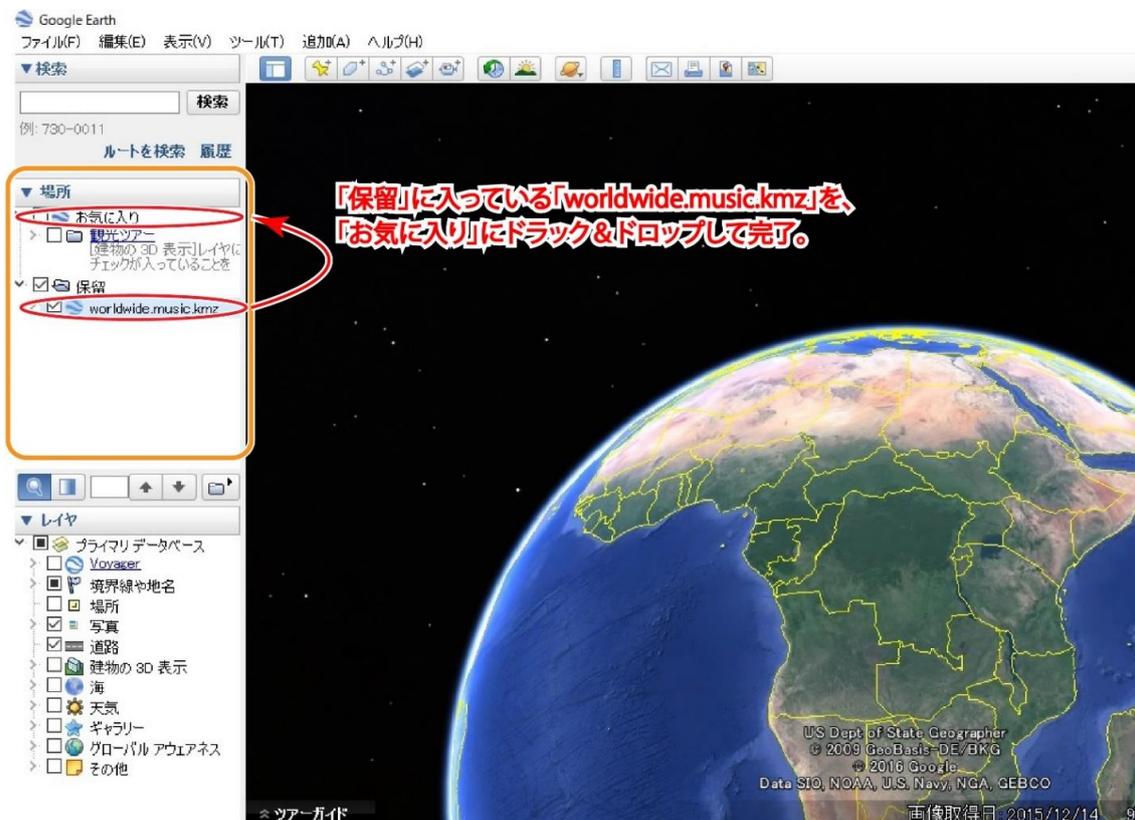
次に、トップページ左上の「ファイル」から「開く」をクリックします。



下図のようなウィンドウが出てくるので、ダウンロードした「worldwide.music」ファイルを開いてください。



左側の「場所」の「保留」フォルダに、「worldwide.music」ファイルが表示されます。「保留」から「お気に入り」にドラッグ&ドロップで移動させれば完了です。チェックボックスにチェックを入れれば、各地域の民族音楽の解説が書かれたピン（目印）が表示されます。

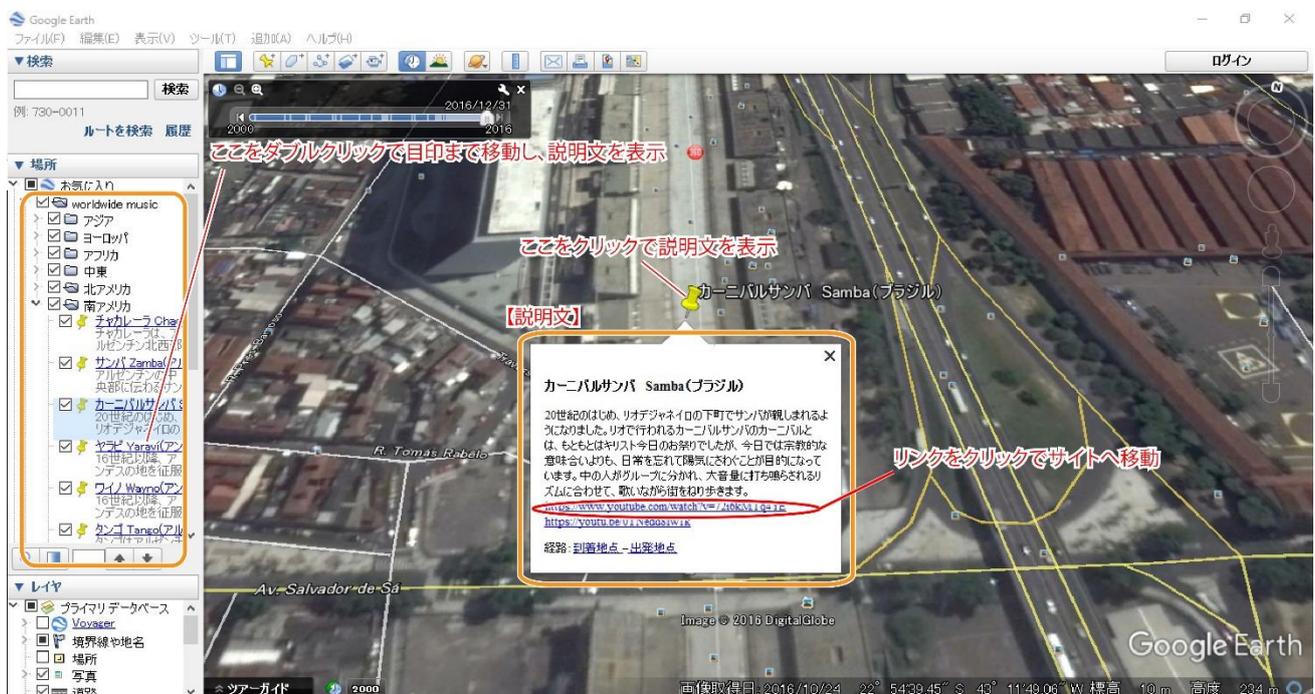


## 2-3. 本学習材の操作方法

これで準備は完了です。ここからは、本学習材の使い方を簡単に説明していきます。本学習材では、GoogleEarth のピン（目印）機能を使用しています。ピン（目印）とは、任意の場所をお気に入り登録しておく、いつでもワンクリックで移動できる機能です。ピン（目印）には名前やアイコンの形、説明文などの設定ができ、設定したピン（目印）をクリックすると説明文が表示されます。

本学習材は、各地域の伝統音楽を、州ごとにフォルダ分けしてお気に入り登録してあります。ピン（目印）をクリックすると、その音楽の説明文が表示されます。加えて、本文最後に張られたリンクをクリックすると、その音楽に関する動画を YouTube で閲覧できます。

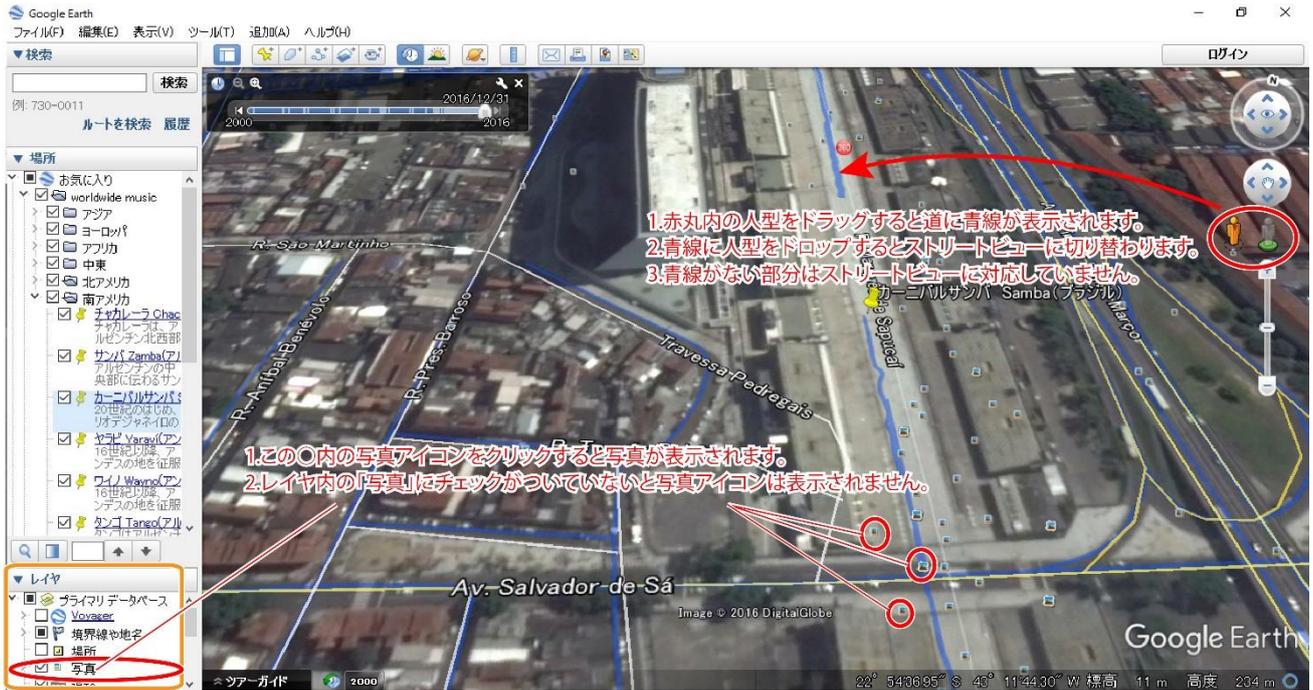
ここでは「南アメリカ」のフォルダにある「カーニバルサンバ」を事例に紹介しています。左端の「お気に入り」欄の「南アメリカ」のフォルダにある「カーニバルサンバ」をダブルクリックしてみましょう。画面がピン（目印）の位置に移動し、説明文が表示されます。また、ピン（目印）をクリックしても説明文が表示されます。



ストリートビューに対応している地区では、実際にその地を歩いているように見ることができます。対応していない地区でも、GoogleEarth 上にアップされている写真を閲覧できます。

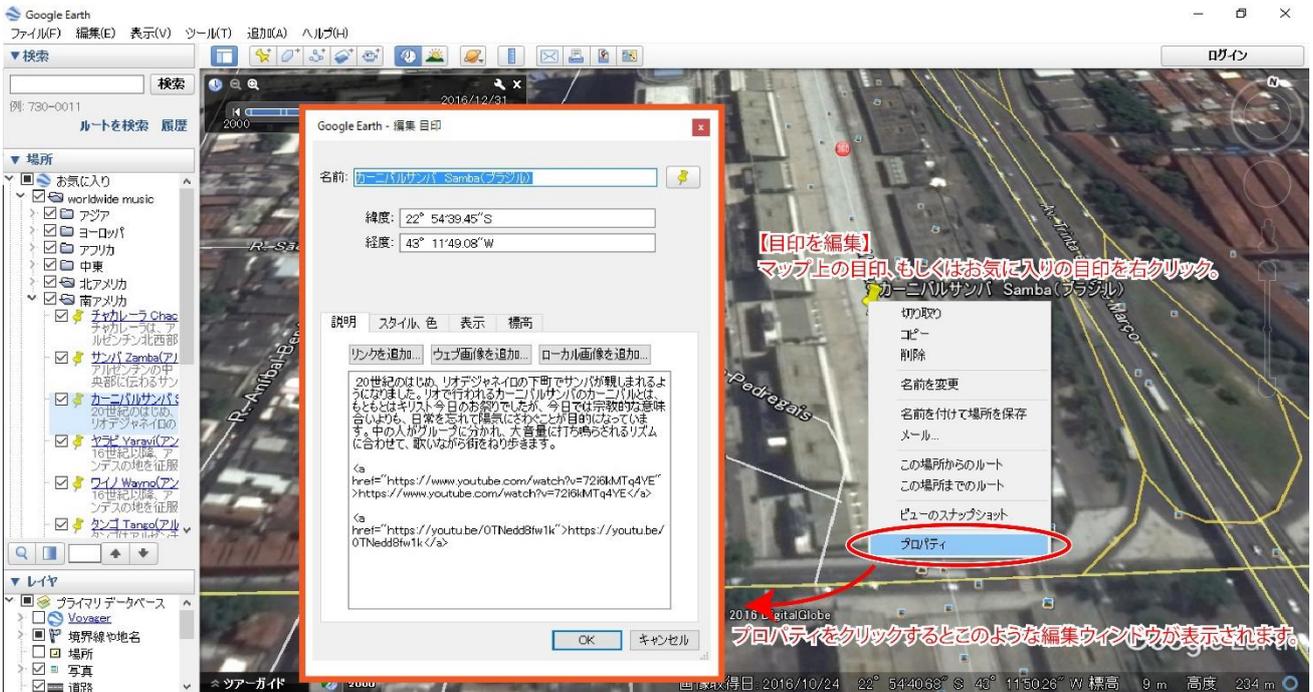
右端（下図の赤丸内）の人型をドラッグしてみましょう。ドラッグして少しすると、道に青い線が表示されます。その青い線に人型をドロップすると、ストリートビューに切り替わります。青い線がない部分はストリートビューに対応していないので、ストリートビューは使えません。

ただし、写真のアイコンがあるところでは、GoogleEarth にアップされている写真を見ることができます。写真を閲覧する際は、画面左下にある「レイヤ」の「写真」にチェックが入っていることを確認してください。

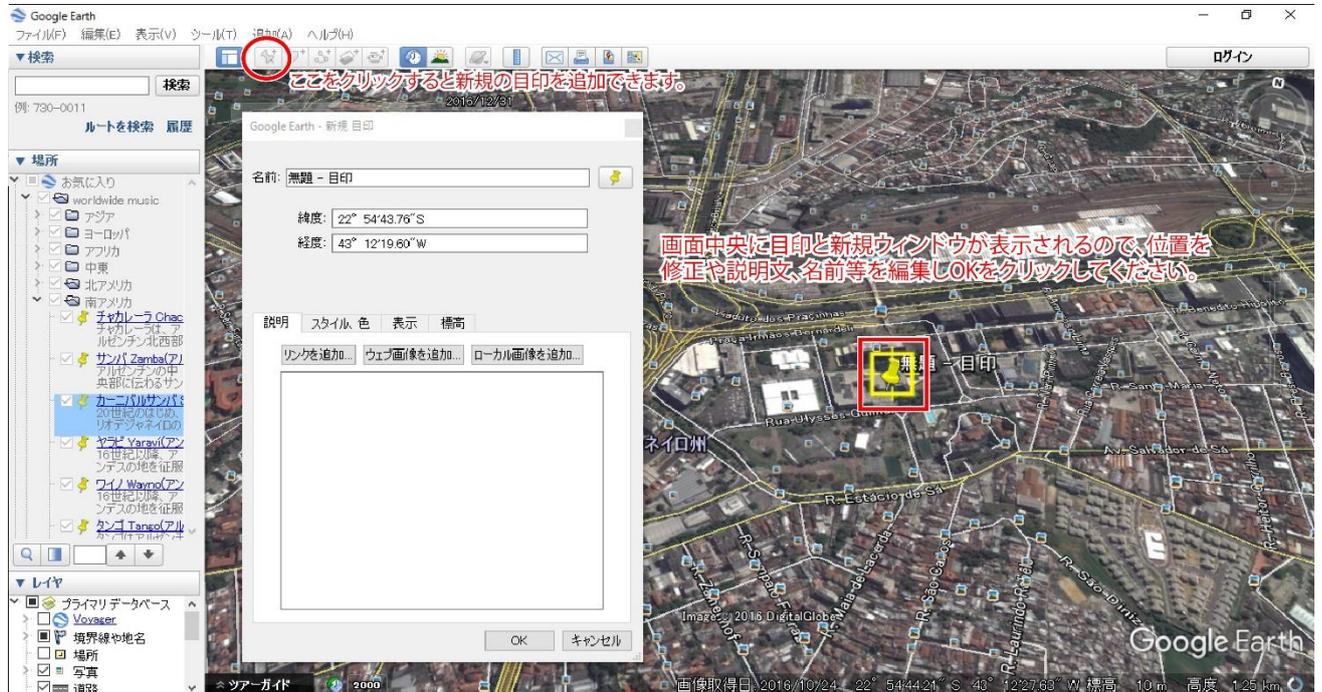


本学習材は、閲覧するだけではなく、自分でピン（目印）を増やしたりすでにあるピン（目印）の位置や説明文を編集したりすることもできます。

ピン（目印）を編集するには、ピン（目印）本体やお気に入り内のピン（目印）を右クリックし、プロパティを呼び出します。そこで必要なところを編集（位置や説明文等）し、OKをクリックすれば編集は完了です。



ピン（目印）を増やすには、下図の赤丸で囲んだピン（目印）のマークをクリックします。すると画面中央にピン（目印）とプロパティと同じ画面が表示されるので、位置を修正や説明文、名前等を編集しOKをクリックしてください。



「ミュージック・トラベラー・オン・グーグルアース」の手引きの内容は以上で終了です。本学習材を入りに、多くの人が学びを深めることができたら幸いです。

※ 本学習材は、広島大学大学院教育学研究科で2016年度後期第4タームに開講された科目「カリキュラム開発セミナーVI b」（担当教員：寺内大輔）における活動のひとつとして制作したものです。

制作：今井貴秀・南條文香・羅芬・寺内大輔、2017年2月15日

お問い合わせ：寺内大輔 [terauchi あつトマーく hiroshima-u.ac.jp](mailto:terauchi@hiroshima-u.ac.jp)